

はじめに

かつて、王侯の邸宅で限られた人だけが楽しんだオペラ。その魅力は国を越えて広まり、時代とともに大きく発展していきました。そして今、インターネットの普及によって、私たちはかつてないほど気軽にオペラを楽しむことができる時代に生きています。しかし、オペラを身近なものだと感じている人は少ないかもしれません。

実は、オペラは思っている以上に私たちの生活に根ざしています。テレビのCMで耳にするあのフレーズにも、映画やゲームのモチーフにも、オペラは息づいているのです。

この本は、オペラについてあまり知らないけれど、教養として、または純粋な興味からオペラを知りたいと思っっている方々に向けて書きました。

「クラシックに馴染みのない人でも聞き覚えのある、有名なフレーズが登場する作品」または「史実と深い関わりがある作品」に該当する20作のオペラをご紹介します。

あらずじは、オペラの脚本の内容を尊重しながら、できるだけ簡潔に表現するよう努めました。取り上げているのは100年以上前の作品ですが、登場人物の心の動きには、現代の私たちにも深く共感できる部分があります。

多くの人がオペラを難しいものと捉えています。そんなことはありません。当時最大級のエンターテインメントだったオペラを手がける作曲家たちは、題材選びに力を入れました。彼らは、一般の人々が楽しめるような魅力的な題材を探し求め、それを芸術作品に昇華させたのです。

あらすじを読むと、その内容が驚くほど親しみやすく、時にはくだらないと感じられるものも多いことが分かります。

さらに、聴きどころとなる曲もピックアップしています。これらのタイトルを調べてみると、「あの曲がオペラの一部だったのか！」という驚きがあるかもしれません。

また、「オペラにまつわる歴史」の項目では、物語と関連する歴史的事実を掘り下げています。いくつかの作品については、作曲家が生きた時代や、オペラの原作が書かれる背景となった社会情勢にも光を当てています。世界史に興味がある方にとっても、新たな視点で歴史を楽しむ一助となれば幸いです。

この本が、オペラに対して皆様が感じる高いハードルを取り払い、気軽に鑑賞するきっかけとなることを願っています。

島田優理子